

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曾観光地域づくり戦略プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	木曾広域連合 (電話：0264-23-1050、FAX：0264-23-1052)
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,890,058 円 (うち支援金： 1,863,000 円)

事業内容

木曾地域特有の観光資源を取り入れたモデルツアーの開催及び木曾地域のガイド育成事業を実施。

- ・ねこづくり体験(日帰り) 9~10月中旬に2回開催 計8名
(宿泊) 10~11月中旬に2回開催 計9名
- ・滝行体験 8月23日に開催 4名
- ・そば打ち体験(講習会) 10月16日に開催 5名
(体験会) 12月中旬に3回開催 計21名
- ・ワーケーション 10月29~30日に開催 3企業7名
- ・ヘルスツーリズム人材育成(研修会) 6月中旬に2回開催 計10名
(履修) 6~10月履修期間 7名
- ・ガイドづくり(研修会) 11月中旬に2回開催 計17名
(講演会) 3月12日に開催 18名

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①ツアー実施後に参加者全員にアンケートを行い、課題を把握した。次年度に計画しているモデルツアーにアンケート結果を反映させ、将来的なツアーの商品化により木曾郡を訪れる観光客の滞在時間延長及び消費額増加が見込める。
- ②既存ガイドとの連携により新規ガイド希望者の掘り起こし施策を検討し後継者発掘に向け弾みがつき、現地研修により今後ガイドとしての活躍が期待できる。また、既存ガイドの資質向上に資するものとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

昨年度、今年度得られた結果を鑑みながら、今後も継続して木曾地域内における観光客の滞在時間の延長及び観光消費額を増加させる仕組みづくりを官民一体となって検討し実施していく。

また、新規ガイド希望者の掘り起こし施策も継続して実施ながら、既存ガイドの育成についても実施していく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【そば打ち体験】

【目標・ねらい】

- ①観光客の滞在時間延長及び観光消費額増加させる仕組みづくりのための滞在型モデルツアーの実施
- ②新規ガイド希望者掘り起こしの施策検討及び既存ガイドの育成

※自己評価【B】

【理由】

- ①参加者からのアンケート結果より課題を洗い出し、次年度実施予定のモデルツアーへ反映させることができた。
1事業について商品化できた。
- ②現地研修・研修会ともに概ね予定の参加者数を得た。